

# 安全にお使いいただくための注意

## ⚠ 警告 安全のため、次のことをお守りください。

- \* 使用目的以外の使用は絶対にしないでください。
- \* 本製品を振り回したり、落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- \* 電源コード、接続する家電製品・器具のコードは引っ張らずプラグを持って取り外してください。
- \* やむを得ずバッテリー単体での使用の場合は、バッテリーの容量に注意してください。
- \* やむを得ず車両のトランクルームや車内に保管する場合は、振動に注意して保管してください。
- \* 本製品に重いものを載せたり、落下しやすいところに保管しないでください。
- \* 本製品または接続している機器に異常や不具合が生じた場合には、直ちに使用中止して下さい。
- \* 運転中は、事故の原因になることがありますので使用しないでください。
- \* 本製品はDC12V専用ですので、DC12V以外の電源への接続はしないでください。
- \* ガソリン、木くず、カーテン等燃えやすいものの周辺では使用しないでください。
- \* 運転の妨げにならない場所に固定してください。
- \* 指定以外の電源電圧で使用しないでください。
- \* 梱包用のビニール等は必ず取り外してご使用ください。
- \* 本製品の分解や改造をしないでください。
- \* 本製品の出力電圧を一般的なテスターで測定した場合、周波数の関係上100Vの表示をしないことがあります。実際には100V出力されていますので故障ではありません。  
正しい出力V数を計る場合はRMSテスター等で計る必要があります。
- \* 破損、キズの入った電源コード等は使用しないでください。
- \* 本製品とバッテリーとの取付の際には、濡れた手などでの取付はおやめください。  
(感電する恐れがあるのでおやめください。)
- \* 本体出力コンセントに家電製品等のACプラグを差し込む時、又は抜くときは必ず本体及び家電製品等の電源スイッチをOFFにしてください。
- \* 点検・調整・修理は、メーカーまたは、販売店にご依頼ください。お客様ご自身で調整・修理により起こったトラブルは保証対象外となります。
- \* 直射日光下や発熱体の周辺などの高温の場所や湿気、ほこり、振動の激しい場所及び化学性ガス害受けやすい場所には保管しないでください。
- \* 極性を反転させた接続、プラス(+)からマイナス(-)への接続を行うとヒューズを破損させ修理不能な損傷をインバーターに与えることがあります。

## ⚠ 注意 業務用、医療機器には使用できません。

- \* 本製品の使用温度範囲は0℃～40℃となりますので、本製品を炎天下の車内、直射日光下、ストーブの前や火の近くなど、40℃を超える場所で使用しないでください。
- \* 本製品を水で濡らしたり、湿度が極端に高い場所で使用しないでください。
- \* 塩害、粉塵害、化学性ガス害等を受けやすい場所で使用しないでください。
- \* 本製品は乳幼児の手の届かないところで使用し、小児が使用する場合は、保護者指導の元でお使いください。

## ケーブル使用目安

●インバーターはDC12VをAC100V変換する機器ですので、消費電力に応じてケーブルを太くする必要があります。基本として、定格出力÷効率÷13.8Vが目安となります。安定した動作と安全の確保のためには出来るだけ太く、短く、信頼性の高いパワーケーブルを使用することが必要です。クレシードのインバーターはあらかじめ最適な容量を計算されたケーブルが付属されていますが、設置場所の問題などで長さを変更する際は以下の表を参考にしてください。

12V用	0~400W	400~500W	600~800W	800~1000W	1000~1500W	1500~2500W	
~1m	14AWG	12AWG	10AWG	8AWG	4AWG	4AWG×2本	2AWG×1本
~2m	12AWG	10AWG	8AWG	4AWG	2AWG	2AWG×2本	0AWG×1本
~3m	10AWG	8AWG	4AWG	4AWG	1/0AWG	1/0AWG×2本	-

ケーブル太さの単位はAWG (アメリカン・ワイヤー・ゲージ) です。数値が低いほど太くなります。他の単位でよく使用されるsq(スクエア、スクエア)で表すと、8AWG≒8sq、4AWG≒22sq、2AWG≒38sq、1/0AWG≒60sqになります。

# 使用方法と使用上の注意

- ①インバーターの電源がOFFになっている事をご確認ください。
- ②ご使用になる家電製品、機器に表示してある周波数(50Hz/60Hz)を確認し、お住まいの周波数、又はご使用いただく機器の周波数に合わせて設定してください。  
※電源ONの状態では周波数が切り替わりませんので、周波数の設定変更は、必ずインバーターの電源がOFFの状態で行ってください。
- ③ワイヤーをインバーターの背面にある入力端子に接続してください。  
12V電源のマイナス(-)端子のワイヤーとインバーターのマイナス(黒)端子が合っているか確認してください。  
そして同様に、12V電源のプラス(+)端子のワイヤーとインバーターのプラス(赤)端子が合っているか確認し、最後にきちんと接続ができているか確かめてください。  
※接続ネジの締めつけが弱い場合、端子に大きな熱が加わり、電流の流れが悪循環になり端子周りが熱により変形する場合がありますので接続ネジはきっちり締めてください。
- ④インバーターのスイッチをONにします。
- ⑤ご使用頂く機器の電源がOFFになっていることを確認し、機器を接続する。
  - ACコンセントを使用する場合
    - ・接続する機器の電源がOFFの状態になっている事を確認してから、電源プラグをAC出力コンセントに差し込んで、接続機器の電源を入れてください。
    - ・エンジン停止時においてのご使用は、バッテリー上がりの原因となります。
  - USBポートに接続する場合
    - ・接続する機器の電源がOFFの状態になっている事を確認してから、USBポートに接続する機器のUSBコネクタを差し込んで、接続機器の電源を入れてください。
- ⑥使用後は本製品に接続した機器の電源をOFFにしてから、本製品から取外してください。

## ⚠ 注意 ご使用前の重要情報

- ※ プラス(+)極とマイナス(-)極を反転して接続をしてしまうと、インバーターに修理不能となる損傷を与える原因となります。極性の反転が原因の故障については保証の対象外となります。
- ※ 可燃性の蒸気やガスがスパークの原因となりますので、適切な距離に設置してください。
- ※ プラス又はマイナス極端子同士の接続中にスパークすることがありますが、インバーター内部に電流を蓄電することによって起こるものであり、通常の現象です。
- ※ インバーターのアース端子が正しく設置されていないと感電するおそれがあります。

定格出力	… 安定して供給する事ができる出力値
最大出力	… 短時間に限り供給できる出力値
瞬間最大出力	… ごく短時間に限り供給できる出力値

表示されている定格消費電力の約5倍以上が最大消費電力の目安となります。  
例: 定格50Wの場合、約5倍の250W以上が最大出力の目安となります。  
冷蔵庫・電気工具・コンプレッサーなどのモーターを使用するものは、表示されている定格消費電力の約10倍以上が最大消費電力の目安となります。

## リモコン説明書(オプション品)

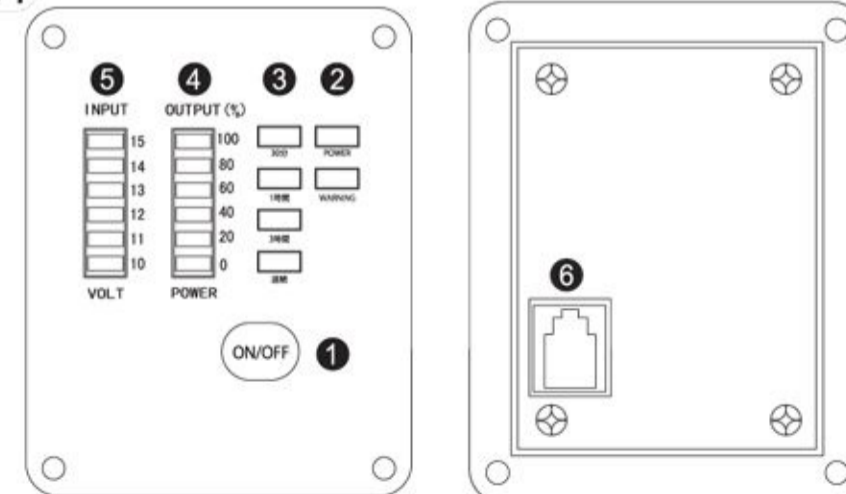
### CSW-R01



#### ① ON/OFF電源スイッチ

※リモコンを併用する場合は、インバーター本体側の電源スイッチは「OFF」の状態で使用してください。インバーター本体側の電源スイッチを「ON」で使用すると、意図しない起動や、余分な電力消費をしてしまうことがあります。

### JSW01



#### ① ON/OFF電源スイッチ

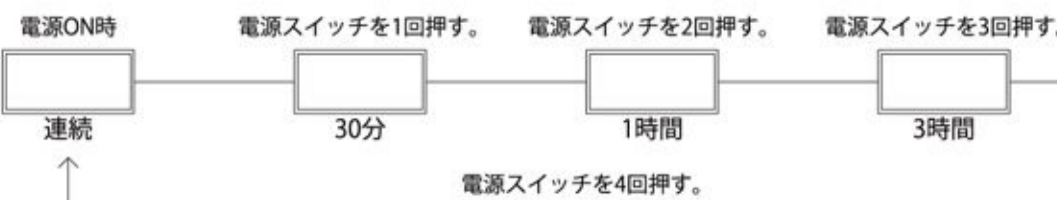
長押し2秒で電源ON  
再度長押し2秒で電源OFF

#### ② トラブル警告・電源ランプ

POWER 電源ランプ 正常に動作中に光ります。  
WARNING トラブル警告 保護機能が働いた時に光ります。

#### ③ タイマー設定ランプ

使用時間の設定ができます。  
電源スイッチを1回押す。 30分  
電源スイッチを2回押す。 1時間  
電源スイッチを3回押す。 3時間  
電源スイッチを4回押す。 連続



#### ④ 出力電圧(%)

#### ⑤ 入力電圧(V)

#### ⑥ リモコンコネクタ

- \* 取扱説明書の使用方法に基づいて使用してください。
- \* インバーター電源ON時の待機電流は1.5Aですが、インバーターリモコンを接続した場合、電源OFF時の待機電流は約0.01A以下になります。タイマー機能を効率よくご利用していただく事により、バッテリー消耗を抑えることができます。
- \* 出力電圧(%)と入力電圧(V)のレベルメーターは正確な数値を示すものではありませんので、予めご了承ください。